

IV-221 地域特性を考慮した道路整備に関する研究

建設省湯沢工事事務所 正会員 ○ 横山真幸  
福山コンサルタント 正会員 宮崎 悟

1. はじめに

高度成長期のまちづくりや公共施設整備は、全国統一の標準マニュアルに沿って行われてきたことから、地域の個性の喪失をもたらした感がある。地域の顔となる道路整備においても例外ではなく画一的な施設整備となっている。

地域個性の喪失は地方定住の重要な条件である地域の魅力の喪失にもつながると考えられることから、今後は地域の特性を考慮した計画の立案と施設整備による魅力ある空間の創出が重要な課題となる。そのためには地域特性を計画に反映させる手法の開発が必要である。

本研究はこの手法開発の一環として、地域特性を把握し地域分類するための分析をおこなった。

2. 調査方法

一般国道7号沿線のうち秋田県北部の2市6町を対象として、地域の特色を歴史・風土的分類、クラスターと主成分分析による社会経済指標からの分類、ヒヤリングとアンケートによる地域住民の意識の分類によって行った。

3. 地域特性

(1) 歴史・風土からみた特性

気候、地形、歴史、民族芸能、伝説、市の木等からみた地域の特徴から地域区分をすると表-1のとおりであり、地域が歴史的、地理的な特性によって、おおよそ二ッ井町を境に大きく二分され、現在でも通勤・通学圏域として区分される。

- 海側；八郎潟と平地の景観、芸能の作々楽（ささら）、八郎太郎伝説、松、桧山安東氏領
- 山側；米代川と周囲の山の景観、秋田杉、浅利氏領

表-1 歴史・風土からみた地域特性区分

| 市町名              | 琴丘町                                     | 山本町 | 八竜町 | 能代市 | 二ッ井町                            | 鷹巣町  | 田代町 | 大館市 |
|------------------|-----------------------------------------|-----|-----|-----|---------------------------------|------|-----|-----|
| 項目               |                                         |     |     |     |                                 |      |     |     |
| 地勢               | 八郎潟                                     |     |     | 米代川 |                                 |      |     |     |
| 景観               | 平地・海                                    |     |     |     | 山・川                             |      |     |     |
| 気候               | 日本海岸型気候である。夏は高温である。<br>冬に比較的温暖で降雪は多くない。 |     |     |     | 日本海側型盆地気候である。<br>冬の降水量はあまり多くない。 |      |     |     |
| 芸能作々楽            | ○                                       | ○   |     | ○   | ○                               |      |     |     |
| 八郎太郎伝説           | ○                                       |     | ○   |     | ○                               |      |     |     |
| 市の木              | 梅                                       | 杉   | 黒松  | 黒松  | (秋田杉)                           | 秋田杉  | (無) | 秋田杉 |
| 領主               | 戦国時代<br>江戸時代                            |     |     |     |                                 | 浅利氏  |     |     |
| 通勤・通学圏<br>(5%圏域) | 能代中心                                    |     |     |     |                                 | 大館中心 |     |     |
|                  |                                         |     |     |     |                                 | 鷹巣中心 |     |     |

## (2) 社会指標からみた特性

表-2の社会指標を用いて分析した結果、地域は大きく八竜町とその他に分類され、次に地域の中心市町村とその他に分類された。それぞれのグループはさらに海側と山側の市町村に分類され、第Ⅰ主成分軸と第Ⅱ主成分軸に着目すると、第Ⅰ軸の得点より第Ⅱ軸の得点が高いのが海側の市町村であり、その逆が山側の市町村である。これは歴史的・風土的な地域分類の結果と同様の結果であり、地域の歴史や風土的要素が地域の現況をも規定しているともみることができる。

表-2 分析に用いた指標

|   |          |    |            |
|---|----------|----|------------|
| 1 | 積雪深      | 8  | 人口当り農業粗生産額 |
| 2 | 田畑面積率    | 9  | 人口当り製造品出荷額 |
| 3 | 森林面積率    | 10 | 人口当り商品販売額  |
| 4 | 人口       | 11 | 人口当り所得     |
| 5 | 人口密度     | 12 | 面積当り国道延長   |
| 6 | 高齢化率     | 13 | 人口当り自動車保有率 |
| 7 | 人口当り事業所数 |    |            |

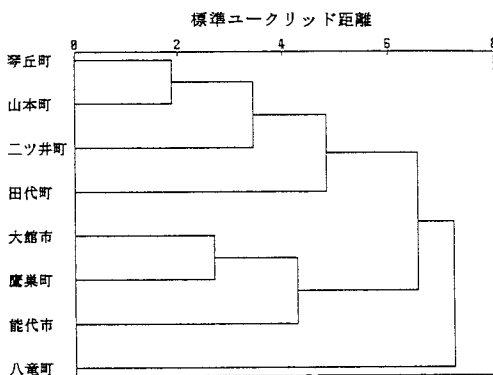


図-1 クラスタ分析による分類

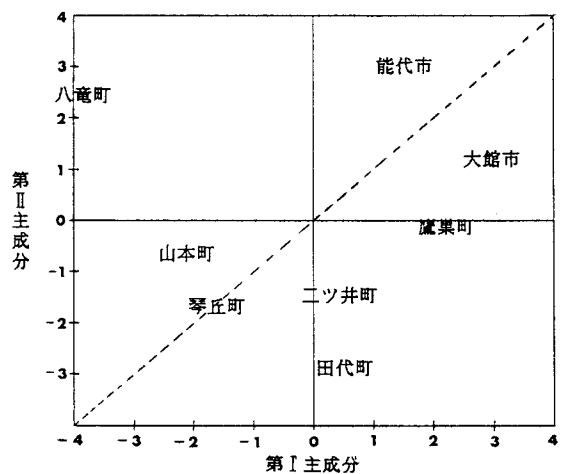


図-2 第Ⅰ, Ⅱ主成分による市町村分布

## (3) 住民意識からみた特性

市町村へのヒヤリングから得られた、地域の代表的特産物、祭やイベント、観光地等に対する地域住民の意識をアンケートによって調査した結果、最も代表的な要素として代表的な景観の地物(八郎潟、きみまち坂、田代岳)と伝統的祭(ねぶながし、綴子太鼓祭)が多く抽出され、地域の風土的要素が住民意識に大きなインパクトを与えていることを示している。

## 4. おわりに

対象地域を大きく規定する自然の特徴は日本海であり、独特の景観をみせる八郎潟、地域を貫流する米代川、これを取り巻く山々である。人々の生活はこれらとの関係の中で成り立ってきた。元来川は地域間交流に密接に関係してきたが、陸上交通の発達とともに道路へと引き継がれてきた。これらの歴史や風土を背景とした地域特性は未だ地域に根強く残っていることから、地域の顔をつくることとなる道路の整備では、地域特性に裏打ちされた空間形成を行っていく必要がある。

この実現にむけては、

- ① 地域特性把握と地域区分手法の深化
- ② 地域特性の道路整備への展開手法

等について検討を行っていく必要がある。